2027年３月期
第２四半期 決算説明資料

株式会社サニックスホールディングス

2026年11月16日

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Ｑ 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Ｑ セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ 決算概況

前年同期比　増収・増益

・資源循環領域における発電事業において、安定稼働による収益貢献に加え、前期法定点検実施による修繕コストの減少などのほか、中東情勢等の影響による売電単価の上昇が寄与し増収・増益
・２Ｑにおいて、システム開発中止にともなう減損損失257百万円を特別損失※として計上

(百万円)	2026/3期 ２Ｑ 実績	2027/3期 ２Ｑ 実績	前年 同期差異	前年 同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比	2027/3期 通期 計画	進捗率
売上高	21,502	**22,090**	+ 587	102.7%	22,178	△ 88	99.6%	47,301	46.7%
売上総利益	7,148	**7,754**	+ 606	108.5%	7,911	△ 156	98.0%	16,807	46.1%
営業利益	△ 19	**737**	+ 757	–	461	+ 275	159.7%	1,837	40.1%
経常利益	△ 407	**570**	+ 978	–	335	+ 235	170.2%	1,578	36.2%
中間純利益	△ 613	**115**	+ 729	–	217	△ 101	53.3%	1,002	11.6%

※住環境領域における次期基幹システムについて、AI技術を活用したシステム開発を進めてきたが、自社の要求水準を満たさない状態になったことに加え、当初想定を上回る追加開発費用と期間を要することが判明。これ以上の投資継続は将来の財務リスクを高めると判断し開発を中止

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ セグメント別概況

住環境領域

売上高構成比 **35.6%**



戸建･集合住宅等のトータルメンテナンスに関する事業

- 戸建住宅向けサービス(HSE)事業
- 法人･集合住宅向けサービス(ES)事業

エネルギー領域

売上高構成比 **13.5%**



企業･法人向け太陽光発電システム等の販売、施工、メンテナンス等に関する事業

- 法人向け太陽光発電事業

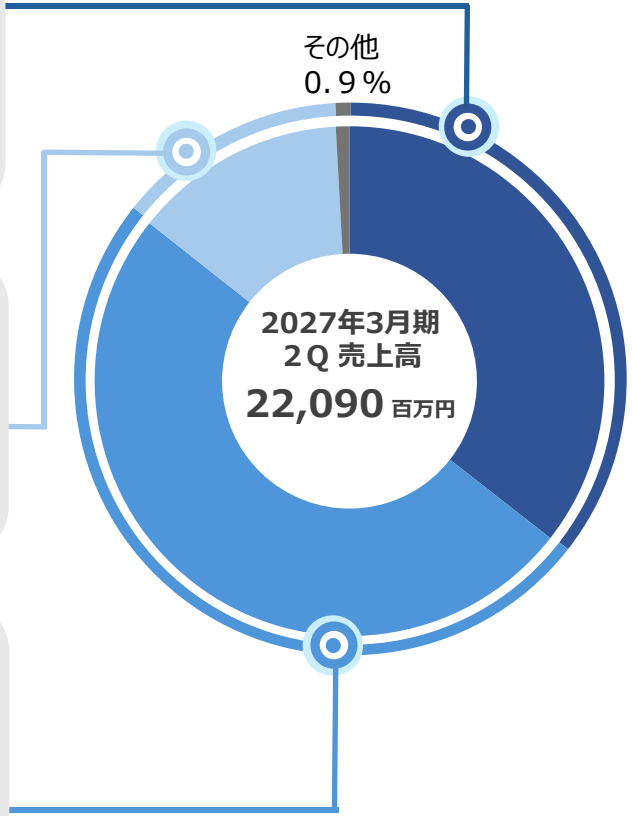
資源循環領域

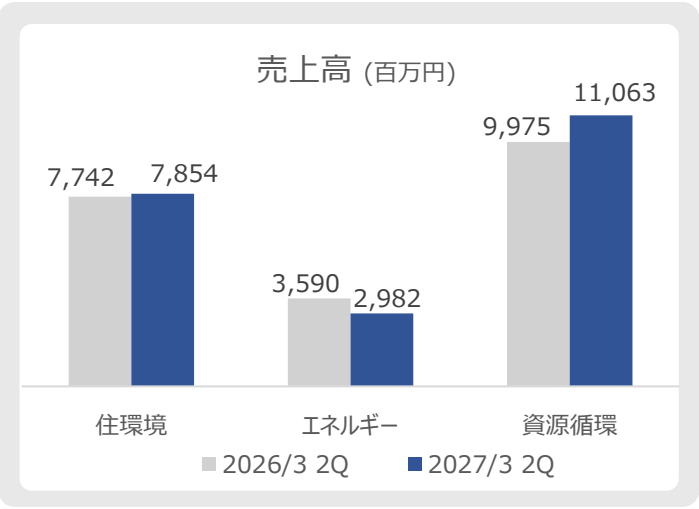
売上高構成比 **50.1%**

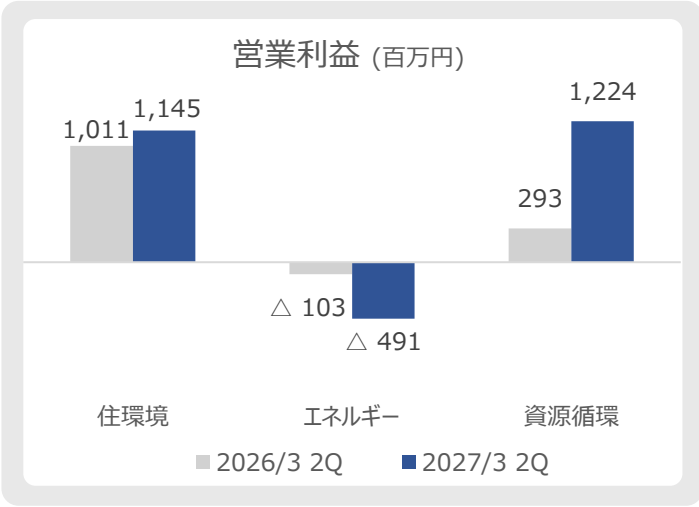


廃プラスチックの再資源化や廃液の浄化･燃料製造等に関する事業

- プラスチック事業
- 廃液処理事業
- 発電事業
- 埋立処理事業
- 新電力事業







Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Q セグメント別概況

			対前年同期比	
住環境領域	売上高	7,854 百万円	(+1.5 %)	2026年6月、新規エリアへ進出（仙台支店（宮城県仙台市）開設） ２Qにおいて、台風や豪雨等により営業や施工への影響があったものの、顧客基盤を活かした既存事業の拡大により、戸建住宅向けサービス事業における家屋の補修・補強工事やリフォーム工事が堅調に推移したことから増収・増益を達成
	営業利益	1,145 百万円	(+13.3 %)	
エネルギー領域	売上高	2,982 百万円	(△16.9 %)	太陽光発電市場の競争激化および法規制・要求水準の厳格化等による環境変化により、減収・減益。引き続き、案件ごとの採算性管理の徹底およびコストの見直し等による事業構造の転換図る
	営業利益	△491 百万円	(△387 百万円)	
資源循環領域	売上高	11,063 百万円	(+10.9 %)	発電事業において、2026年４月に実施した対策工事が奏功し、安定稼働に寄与。 安定稼働による電力販売量の増加に加え、中東情勢等による影響により卸電力取引市場への売電単価が上昇したことから増収。 利益面では、発電事業の増収による増益効果に加えて、前期に法定点検を実施したことおよび安定稼働により、修繕コストの減少やプラ燃料在庫の改善が寄与し増益を達成
	営業利益	1,224 百万円	(+316.9 %)	
その他/本社費用	売上高	190 百万円	(△2.5 %)	各事業会社への人員の再配置等により本社費用減少。 引き続き、各事業の成長と利益の最大化を図るとともに、次なる成長の柱となる新規事業の創出を積極的に推進
	営業利益	△1,141 百万円	(+79 百万円)	

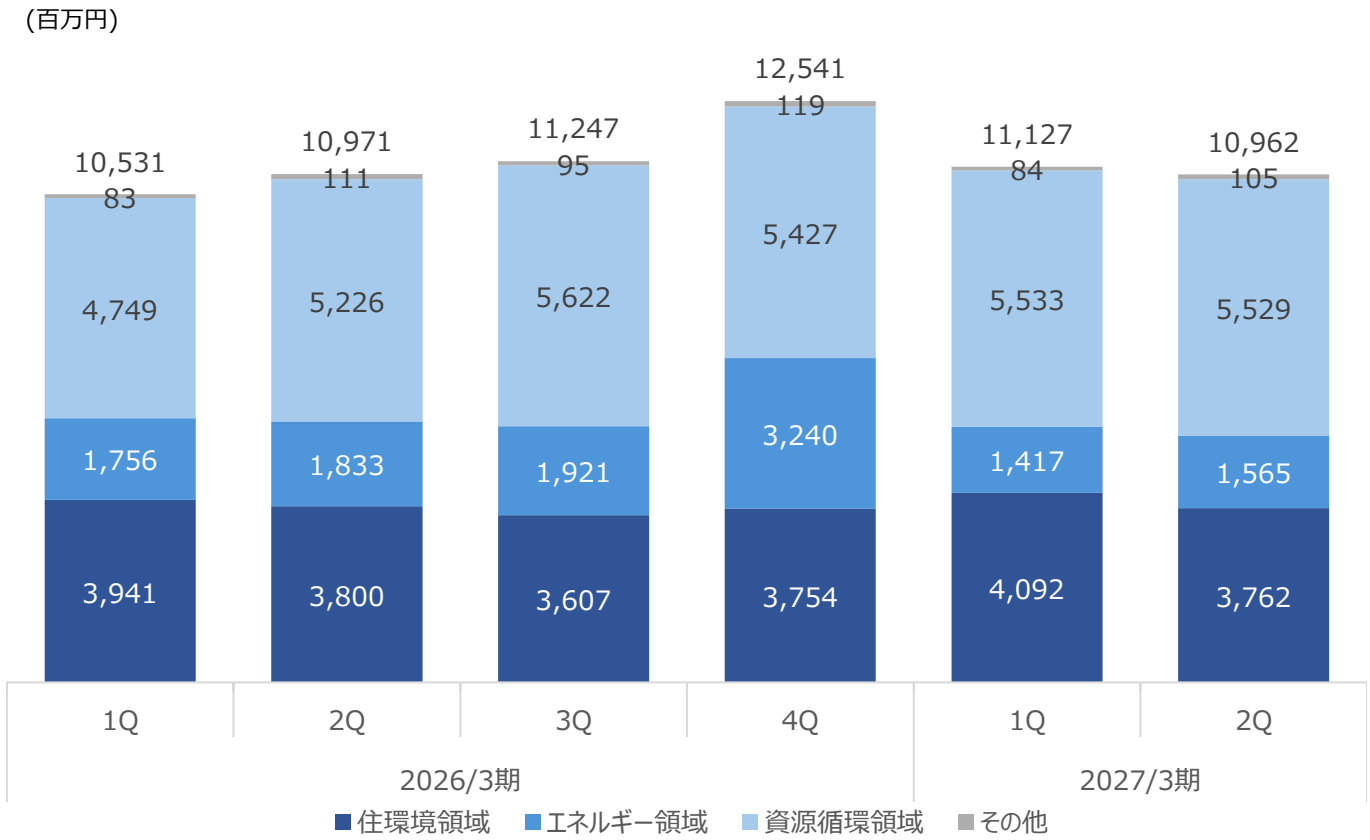
Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ セグメント別概況

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績	前年同期差異	前年同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比
売上高	**21,502**	**22,090**	**+ 587**	**102.7%**	**22,178**	**△ 88**	**99.6%**
住環境領域	7,742	**7,854**	+ 112	101.5%	7,943	△ 88	98.9%
エネルギー領域	3,590	**2,982**	△ 607	83.1%	3,531	△ 549	84.4%
資源循環領域	9,975	**11,063**	+ 1,087	110.9%	10,492	+ 571	105.4%
その他	195	**190**	△ 4	97.5%	211	△ 21	90.1%
営業利益	**△ 19**	**737**	**+ 757**	**－**	**461**	**+ 275**	**159.7%**
住環境領域	1,011	**1,145**	+ 134	113.3%	1,092	+ 53	104.9%
エネルギー領域	△ 103	**△ 491**	△ 387	－	△ 178	△ 313	－
資源循環領域	293	**1,224**	+ 930	416.9%	937	+ 286	130.6%
その他 / 本社費用	△ 1,221	**△ 1,141**	+ 79	－	△ 1,390	+ 248	－

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ 売上高（四半期推移）



対前年同期比

＋2.7%増

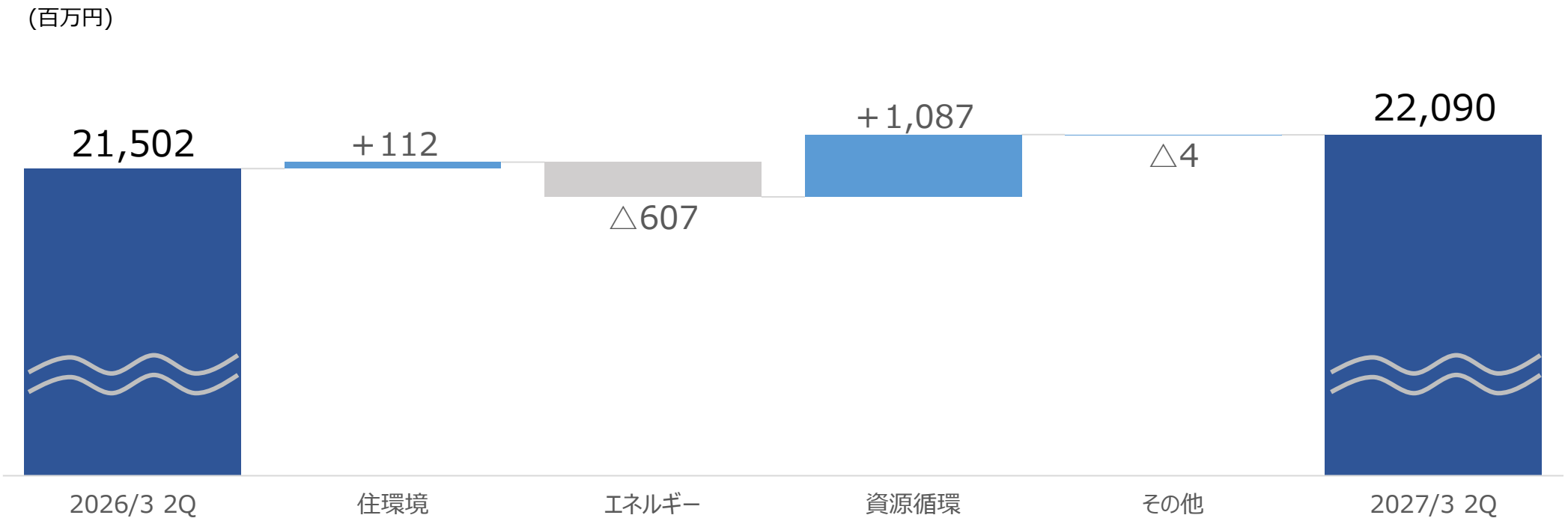
住環境領域	＋1.5%増
エネルギー領域	△16.9%減
資源循環領域	＋10.9%増

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Q 売上高 対前年同期増減分析

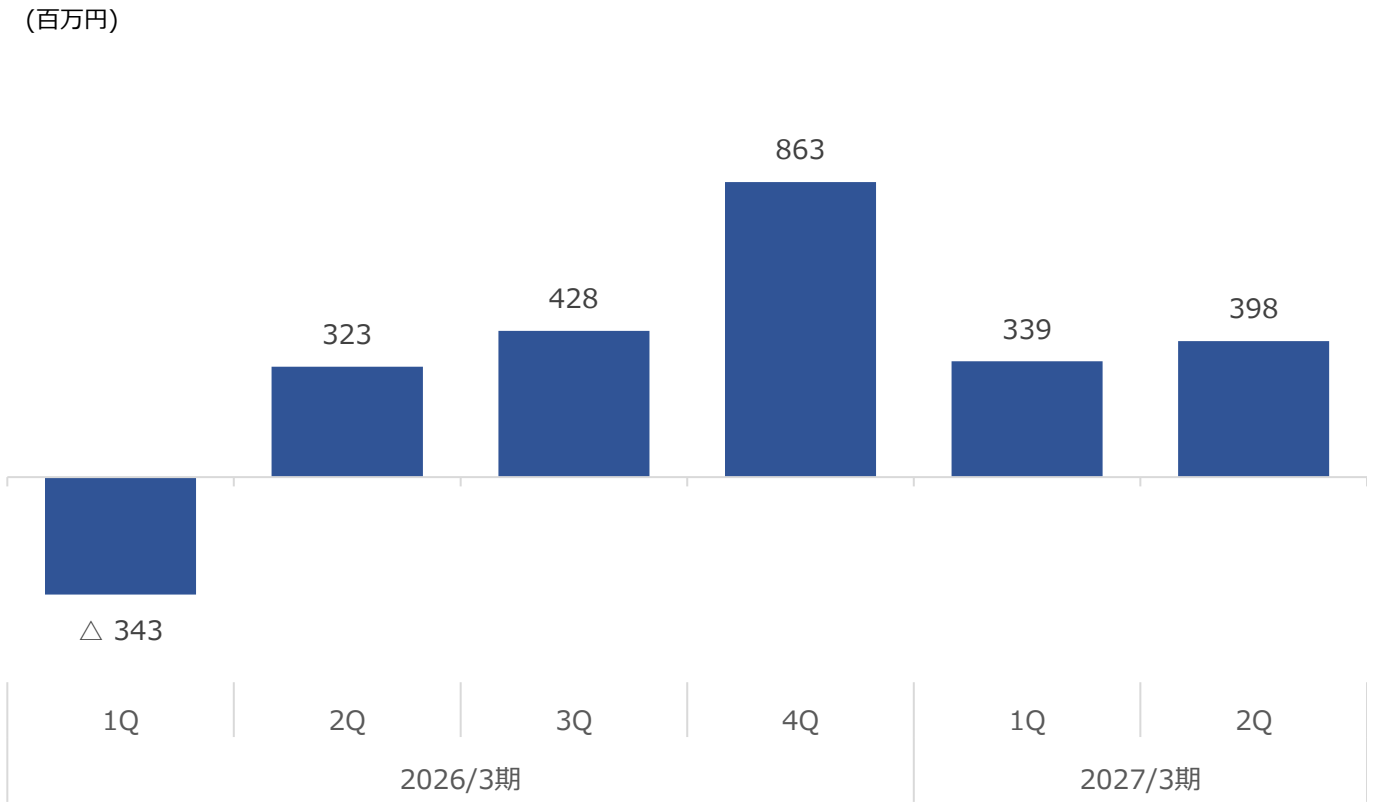
売上高

対前年同期　＋587 百万円



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ 営業利益（四半期推移）



対前年同期

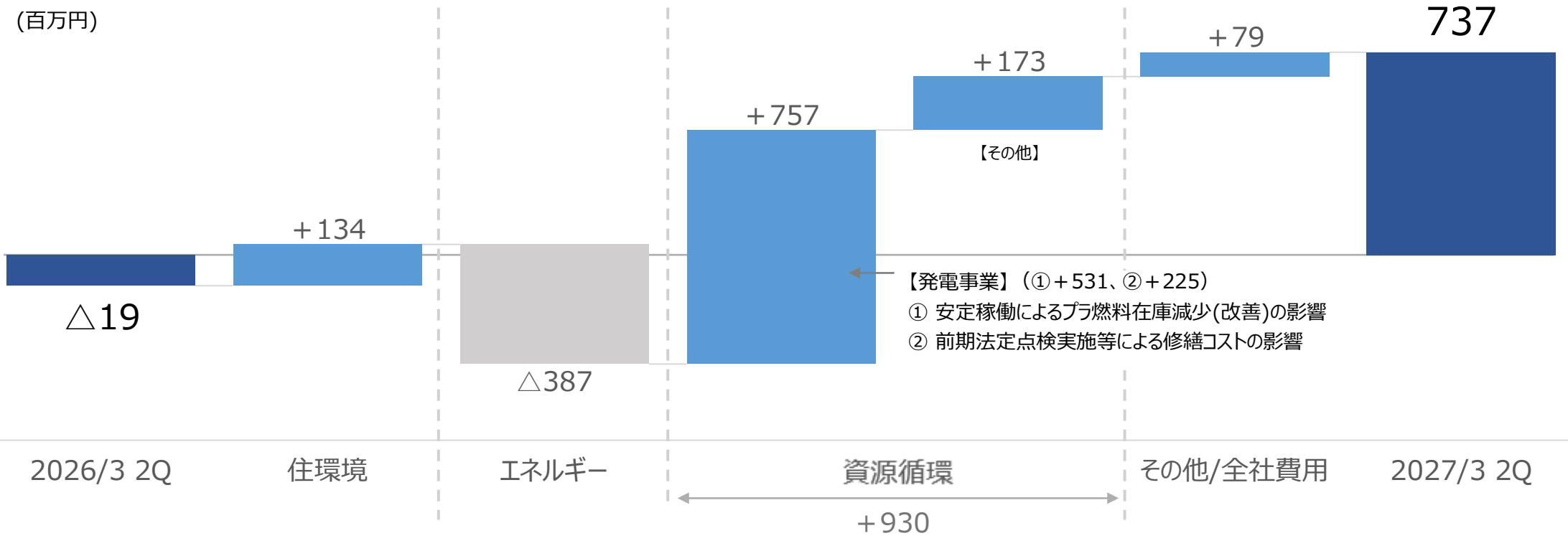
＋757 百万円

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Q 営業利益 対前年同期増減分析

営業利益

対前年同期　＋757 百万円



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Q 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Q セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

住環境領域

快適な住環境を次世代へつなぐ

- 戸建住宅向けメンテナンス
- 集合住宅向けメンテナンス
- 住宅用太陽光発電設置
- 衛生管理

サニックスグループでは、“予防医学（＝未然に防ぐという思想）”の見地から、祖業のシロアリ消毒事業をスタートし、戸建・集合住宅等のトータルメンテナンスを展開。さらには、太陽光発電やリフォーム、都市空間の衛生管理まで、世代を超えて受け継がれる、快適で衛生的な暮らしを実現します。

戸建住宅向けサービス(HSE)事業

シロアリの習性を熟知したスタッフが、予防から駆除まで、適切に対処。豊富な経験と実績で培われた専門技術とノウハウ、万全のアフターサービスにより、大切なマイホームをシロアリの被害から守ります。


白蟻防除施工


床下・天井裏換気システム

戸建て住宅向け太陽光発電の普及を目指して、環境にも家計にも優しい生活を実現します。また、自家消費型太陽光発電のニーズが高まるなか、蓄電池の導入による電気の柔軟な使い方をご提案しています。


住宅用太陽光発電システム


蓄電池

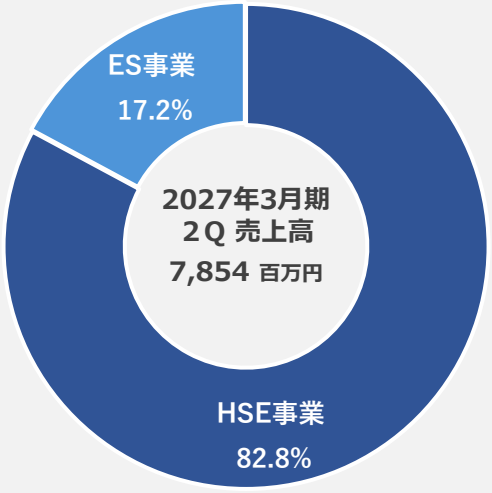
法人・集合住宅向けサービス(ES)事業

給排水設備メンテナンスの効率的一元管理を実践。主力商品である防錆装置などにより、配管内のサビの発生・進行抑制による配管の長寿命化や、スケール・油汚れの除去・付着抑制によるトラブルの解決を図ります。


ビデオスコープによる水道管検査


害虫防除施工

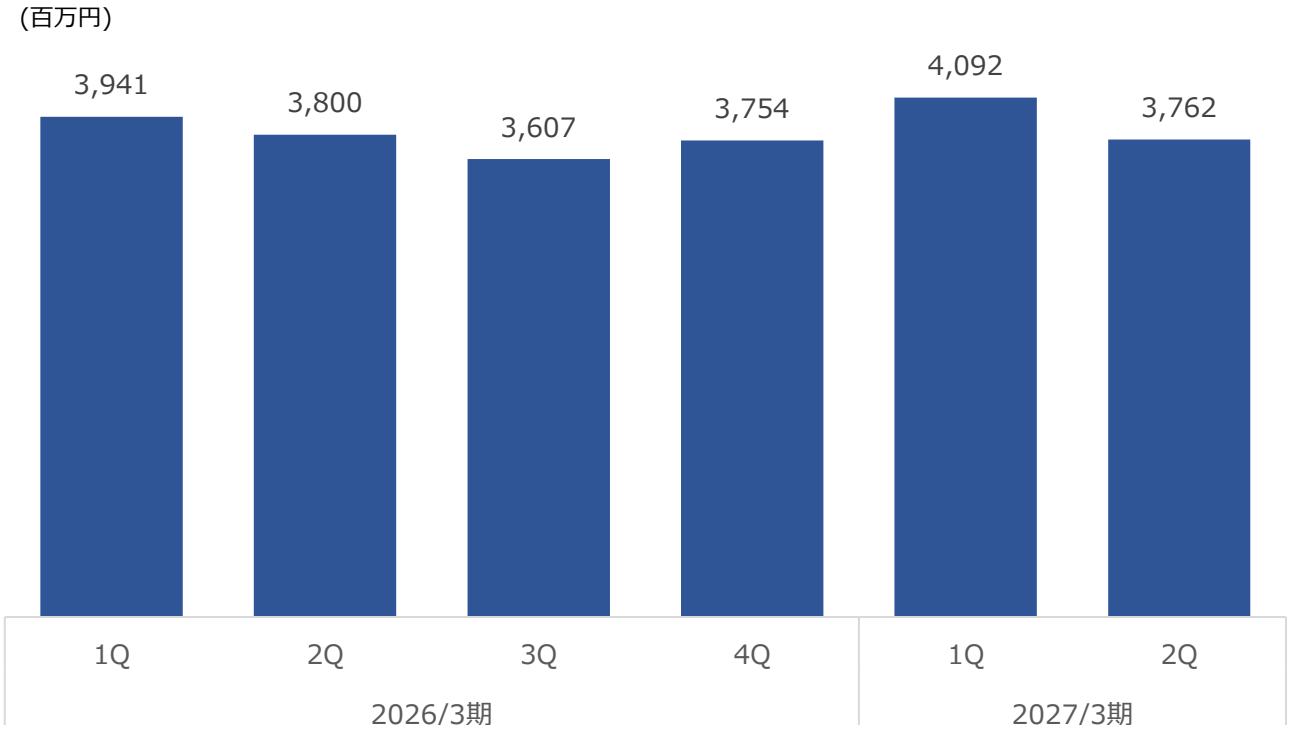
住環境領域
売上高構成比



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

住環境領域｜売上高

２Qにおいて、台風や豪雨等により営業や施工への影響があったものの、顧客基盤を活かした既存事業の拡大により、戸建住宅向けサービス事業における家屋の補修・補強工事やリフォーム工事が堅調に推移したことから、前年同期＋112百万円の増収



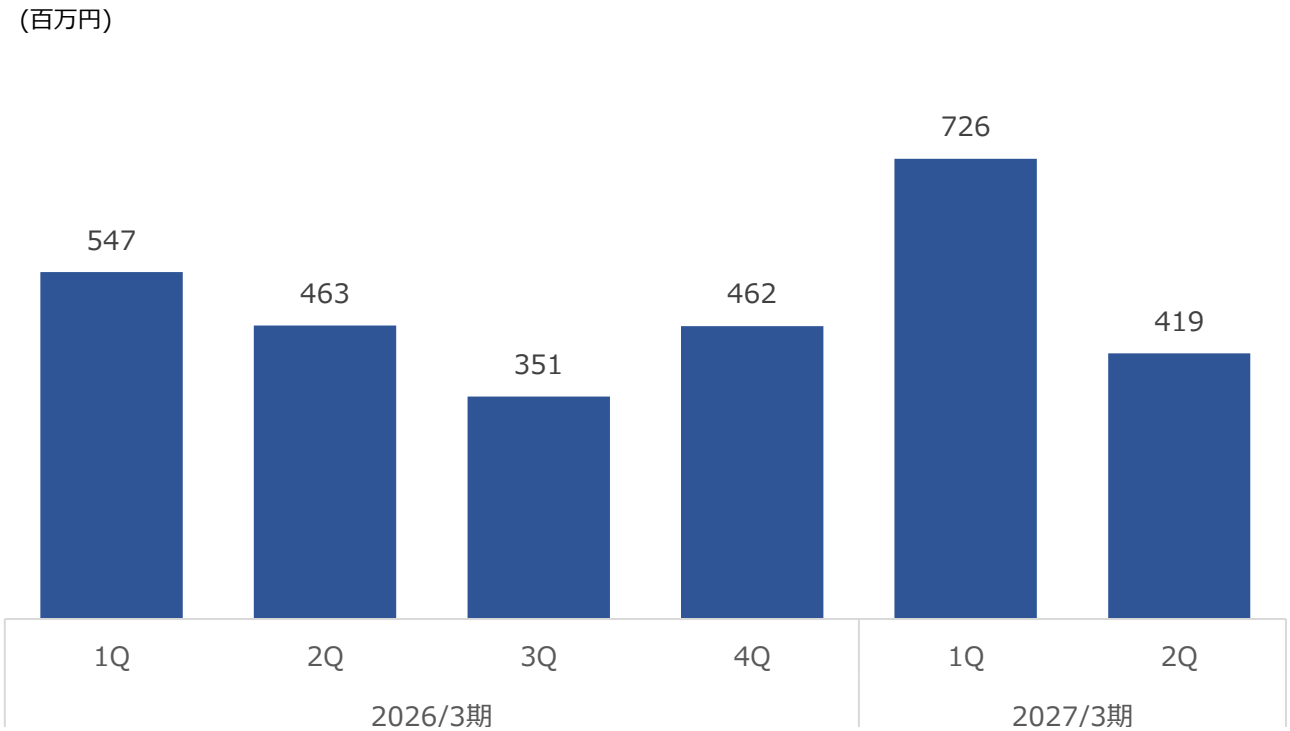
対前年同期比

+1.5%増

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

住環境領域 | 営業利益

主力事業である戸建住宅向けサービス事業において、リフォーム工事増加により外注費が増加したものの、高水準の粗利率を維持しつつ事業成長を牽引したことから、前年同期＋134百万円の増益



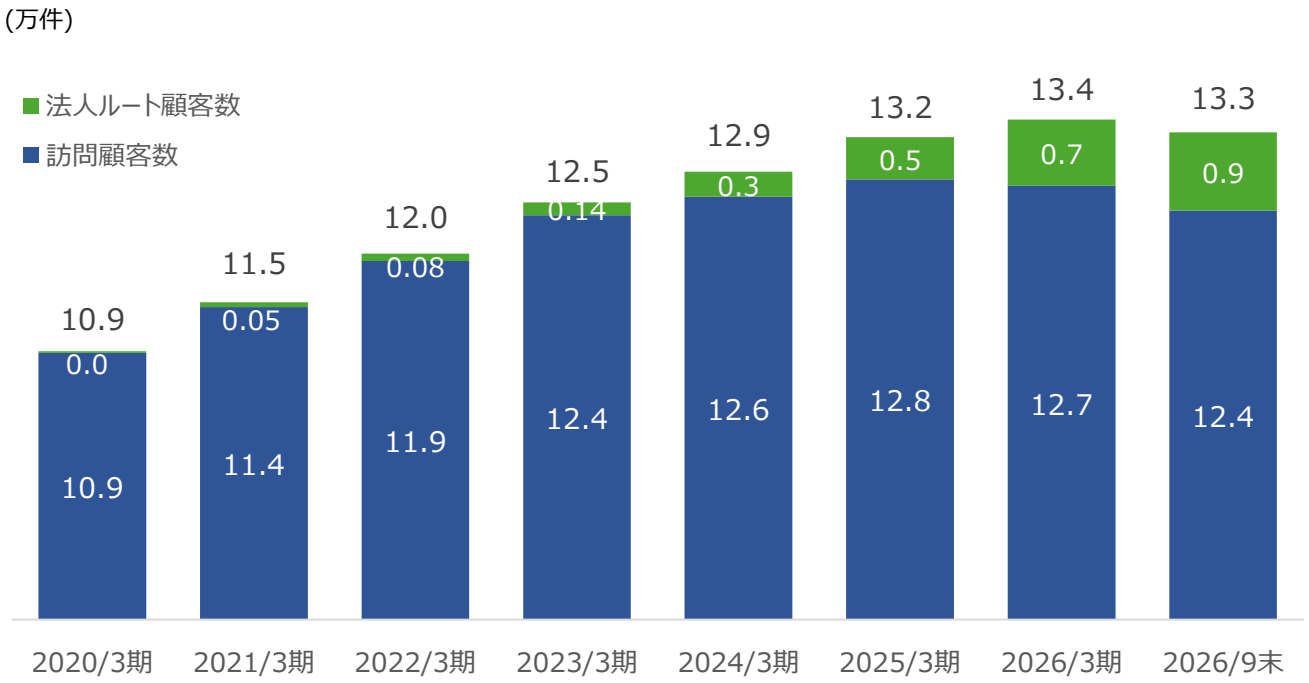
対前年同期比

+13.3%増

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

住環境領域 | 顧客件数

2020年3月期以降、顧客基盤は約３万件増加



※顧客件数は、従来の保証契約継続中の顧客（訪販顧客数）に加えて、
法人ルート顧客数（買取再販消毒や建前消毒等）を合計して記載しております。

強固な顧客基盤

13.3万件

(2026年9月末現在)

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Ｑ 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Ｑ セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

エネルギー領域

環境負荷の低いエネルギーを普及拡大させる

- 法人向け自家消費太陽光発電設置
- 既設太陽光発電メンテナンス
- エネルギー事業者向け太陽光電源開発

サニックスグループでは、お客様のニーズに合わせて、最適な太陽光発電システムのかたちをご提案、導入からメンテナンスまで、環境経営の推進をサポートするとともに、再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

法人向け太陽光発電事業

工場の屋根やビルの屋上等の有効利用を促進。法人向け自家消費型・第三者所有型太陽光発電システムを中心に、太陽光発電によるコスト（電気代）削減、災害対策、環境経営をサポート。ご提案から設計、施工、アフターメンテナンスまで、トータルに提供します。



自家消費型/第三者所有型

【第三者所有型(PPAモデル)の仕組み】
PPA事業者が、お客様の敷地や屋根に、PPA事業者の費用負担により太陽光発電を設置(PPA事業者が所有・維持管理)。この太陽光発電で発電された電気を、PPA事業者が、お客様へ有償で供給する仕組みです。



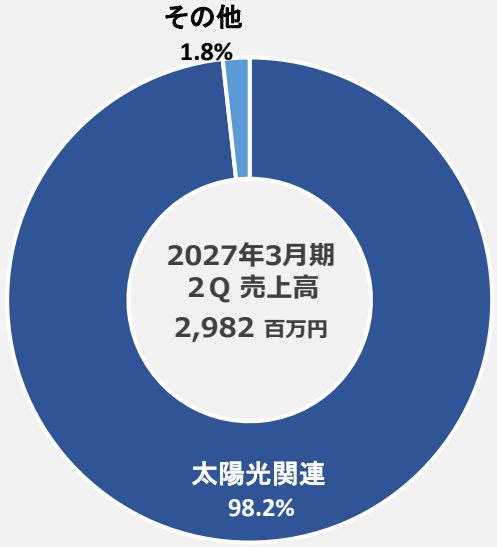
非FIT電源開発



O＆M(メンテナンス)

WEBモニタリング(遠隔監視)から、法により義務化されている保守・点検まで。
お客様の太陽光発電所の安心稼動をサポートします。

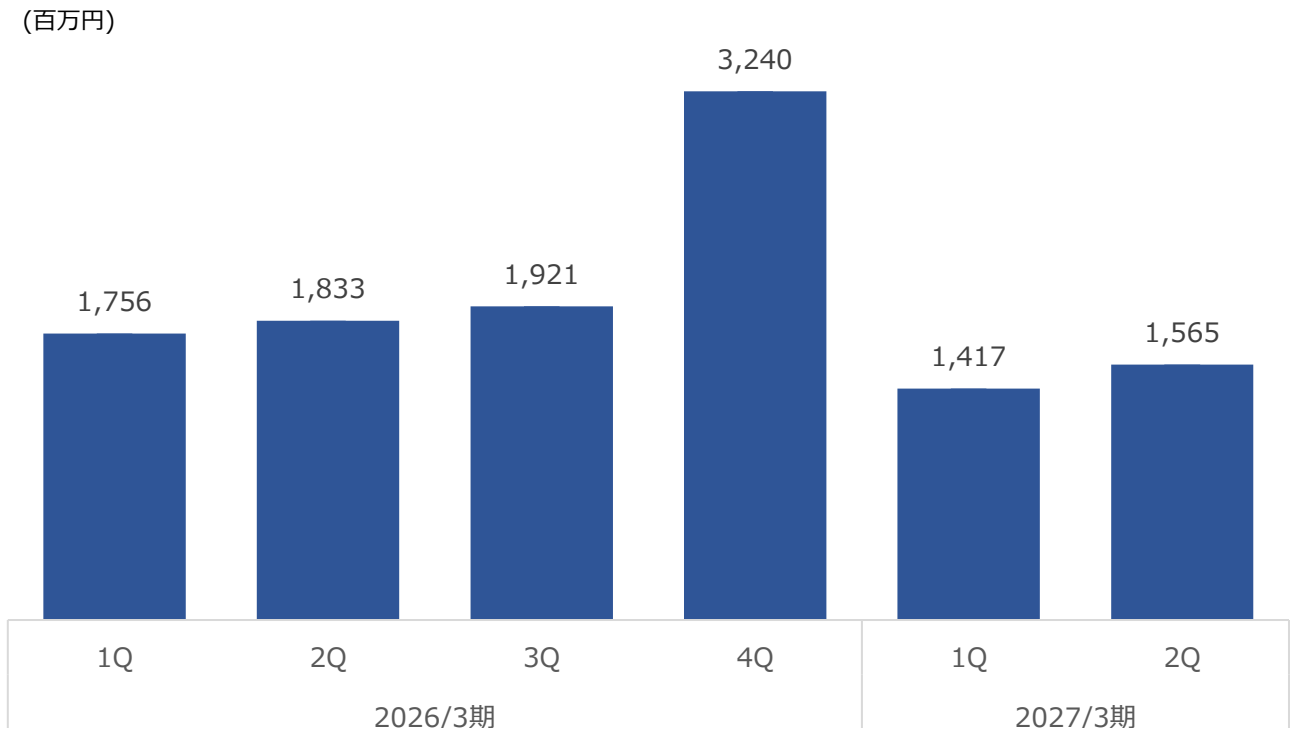
エネルギー領域
売上高構成比



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

エネルギー領域 | 売上高

太陽光発電市場の競争激化および法規制・要求水準の厳格化等による環境変化により、前年同期△607百万円の減収



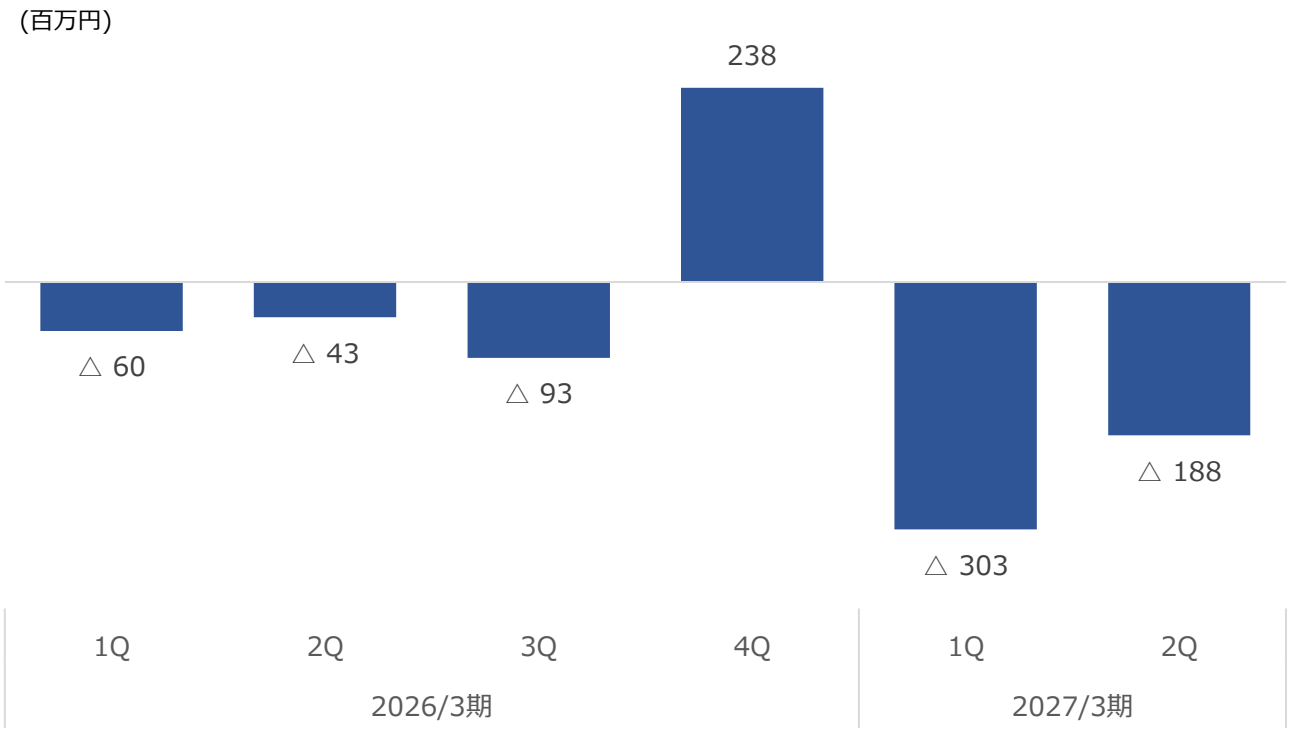
対前年同期比

△16.9%減

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

エネルギー領域 | 営業利益

案件ごとの採算性管理の徹底およびコストの見直し等による事業構造の転換を継続して実施しているものの、減収により固定費を吸収できず前年同期△387百万円の減益



対前年同期

△387 百万円

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Q 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Q セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域

資源を捨てずに循環させる

- 廃プラスチックの再資源化
- 廃プラ燃料による発電、電力小売
- 廃液の浄化、再生燃料製造
- 産業廃棄物の最終処分

サニックスグループでは、産業廃棄物系プラスチックの燃料化・リサイクルや、食品工場などから排出される廃液の浄化及びリサイクルなど、次世代の地球環境を考えた事業を通じ、循環型社会の構築に貢献します。

廃プラスチックの燃料化

産業廃棄物系プラスチックの燃料化を目的とした工場（プラスチック資源開発工場）を、全国各地に15工場展開。大きさや形がさまざまな廃プラスチックを細かく破砕することにより、石油・石炭などの代替燃料として再生。マテリアルリサイクルを本格的に開始しています。


プラスチック資源開発工場


プラスチック燃料

資源循環型発電システム

プラスチック資源開発工場で燃料化したプラスチックを、発電施設のエネルギー源として利用。石炭と比べて、発熱量が高く、CO2排出量や焼却灰発生量が少なくて済むことから、環境負荷が低く、付加価値(非化石価値)の高い電気を供給します。


苫小牧発電所


最終処分場

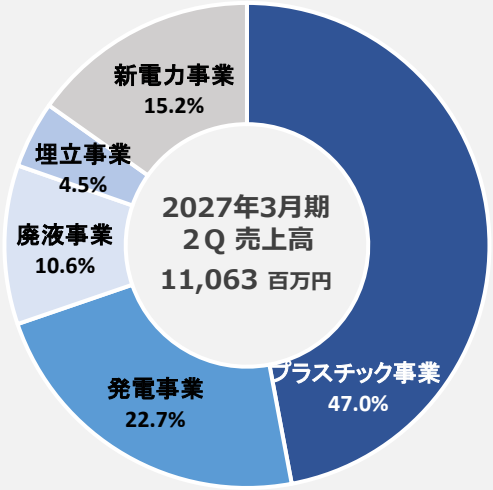
廃液の浄化処理・リサイクル

外食産業の店舗や食品工場、その他雑廃水ピットなどから排出される有機廃液などを、大量に受け入れる体制を整えています。一連の処理工程により、高濃度の汚濁成分を99%以上除去する能力を有しています。また、油分や、脱水汚泥の燃料化リサイクルも推進しています。


廃液処理工場


電力小売

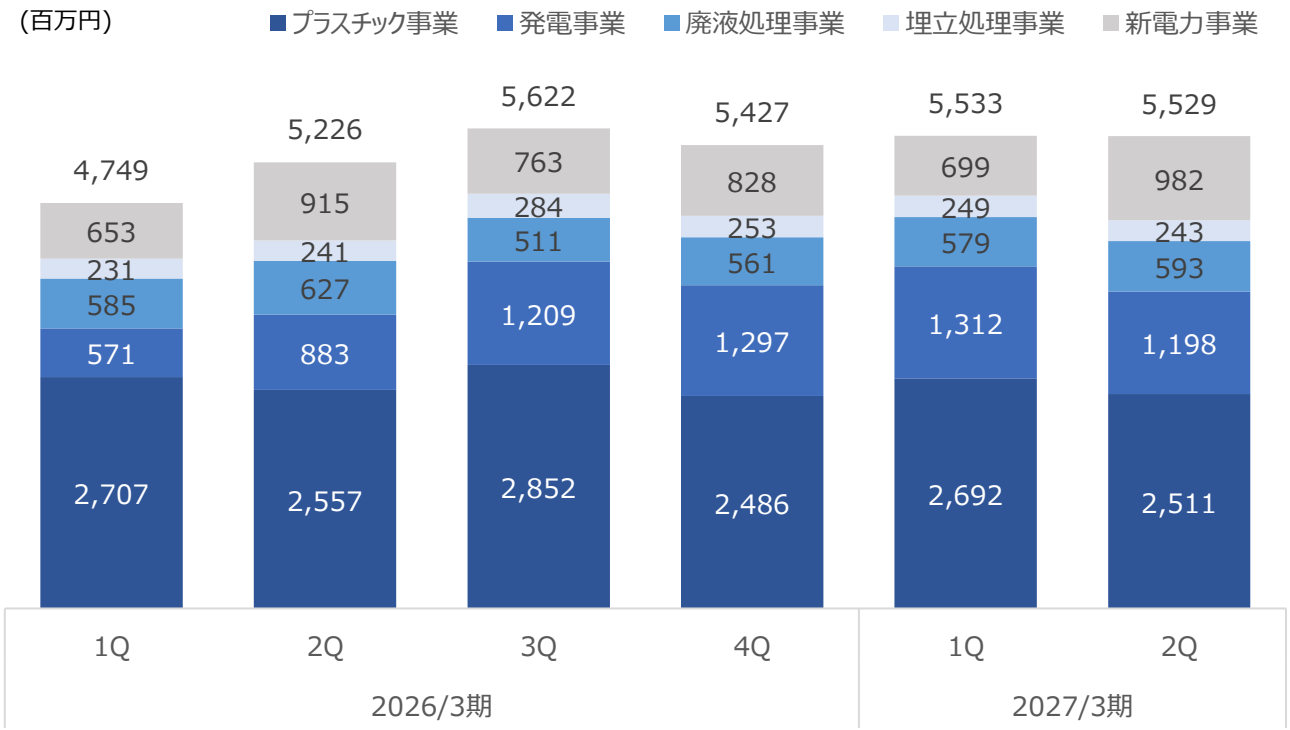
資源循環領域
売上高構成比



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域｜売上高

プラスチック事業において、受入単価の改定を実施したものの、中東情勢等の影響による受入量減少をカバーできず△59百万円の減収。一方で、発電所の安定稼働により発電事業が＋1,056百万円と大きく増収となったことから、全体では前年同期＋1,087百万円の増収



対前年同期比

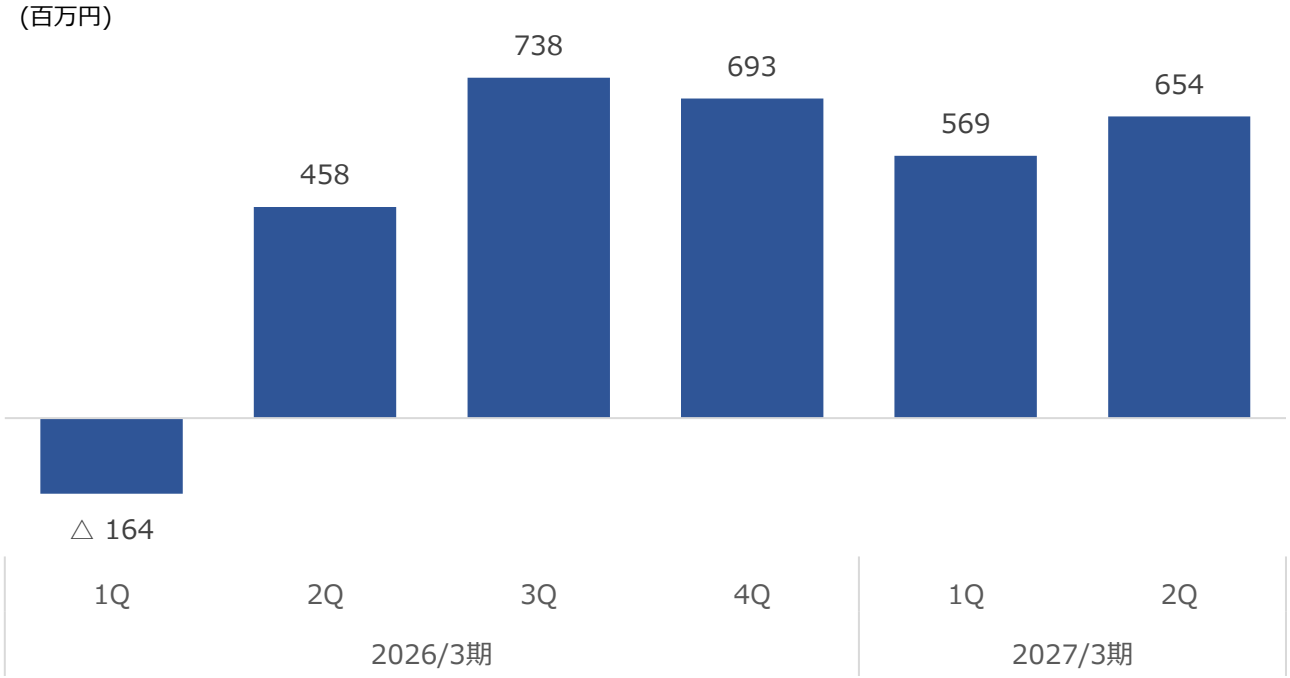
＋10.9%増

プラスチック事業	△1.1%減
発電事業	＋72.6%増
廃液処理事業	△3.4%減
埋立処理事業	＋4.1%増
新電力事業	＋7.1%増

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域｜営業利益

プラスチック事業において、中東情勢等の影響により消耗品費や輸送コストが上昇し、コスト負担増加。一方で、発電事業の増収による増益効果に加えて、前期に法定点検を実施したことおよび安定稼働により、修繕コストの減少（＋225百万円）やプラ燃料在庫の改善（＋531百万円）が寄与し増益。その結果、前年同期＋930百万円の増益



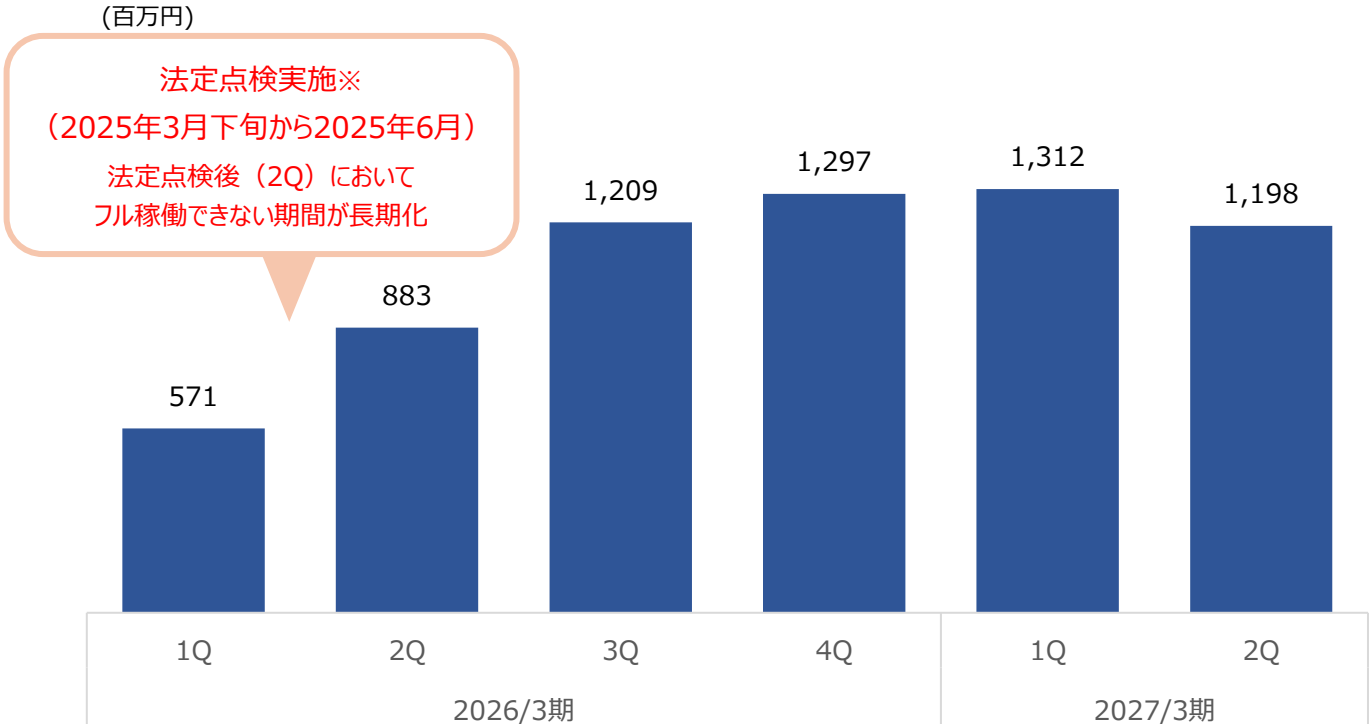
対前年同期

＋930 百万円

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域｜発電事業 売上高

2026年４月に実施した安定稼働に向けた対策工事が奏功し、安定稼働に寄与。
安定稼働により電力販売量が増加したことに加え、中東情勢等による影響により卸電力取引市場への売電単価が上昇したことから、前年同期＋1,056百万円の増収



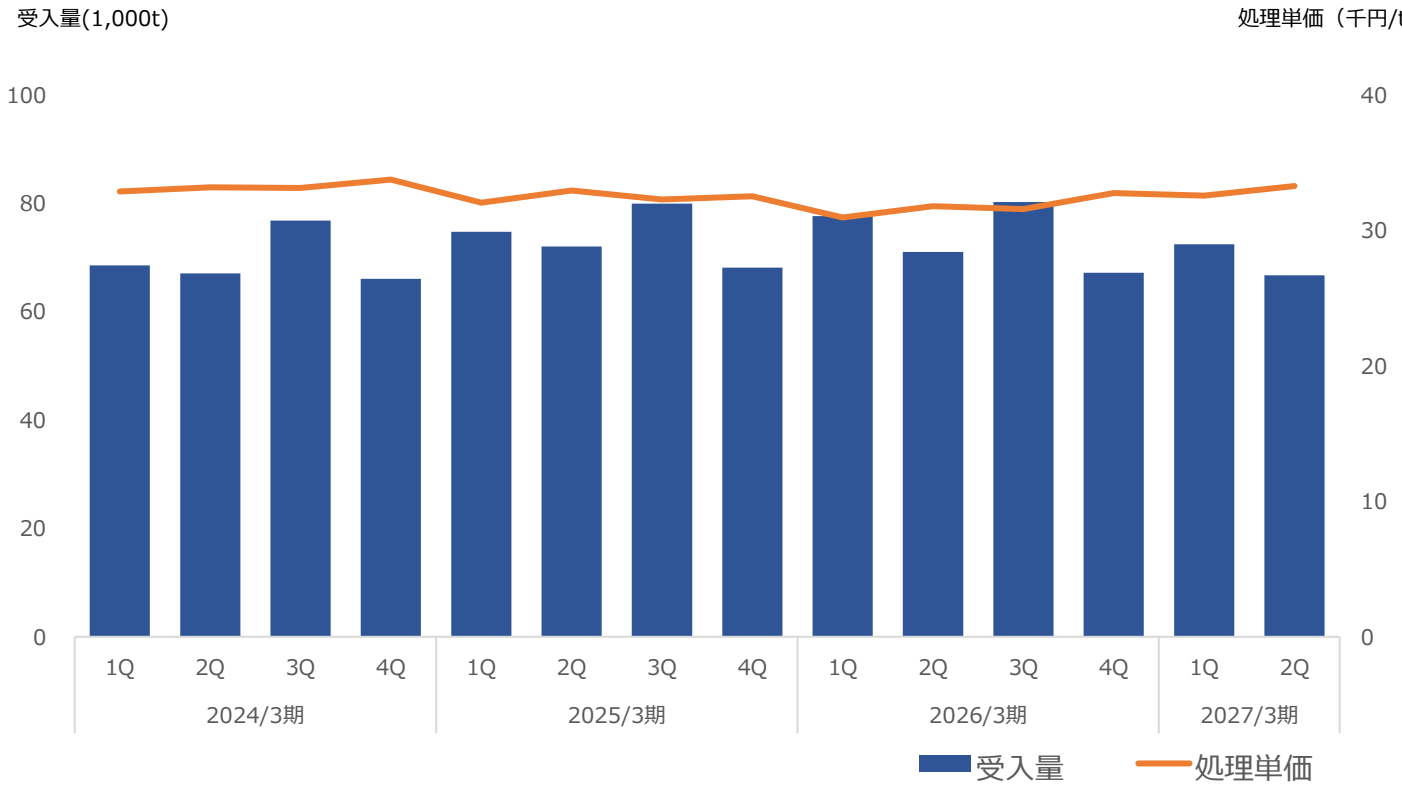
対前年同期比
＋72.6%増

※　将来的な安定稼働に向けて、
タービン・ボイラーの大規模な設備更新を実施

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域 | 廃プラスチックの受入状況

2026年度より受入単価の改定を実施
受入量については、中東情勢の影響により減少



対前年同期比

受入量　△ 6.4%減

受入単価　＋ 5.0%増

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Q 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Q セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

住環境領域 | 新規エリアへ事業進出

住環境領域では、強固なアライアンスの構築および新規エリア（関東、東北、北海道）への進出により、市場・顧客の拡大を目指します。

成長戦略：アライアンス強化・市場開発（関東、東北、北海道）の方向性

1．アライアンス強化

＜手法＞
- 新規地場ビルダーとの提携拡大
- 既存提携ビルダーの北、東北エリアの紹介拡大

2．関東、東北、北海道への進出

＜手法＞
- 拠点整備の推進
- M&Aによる同業集約（事業承継案件などの活用）
- 地域のお困りごと解決

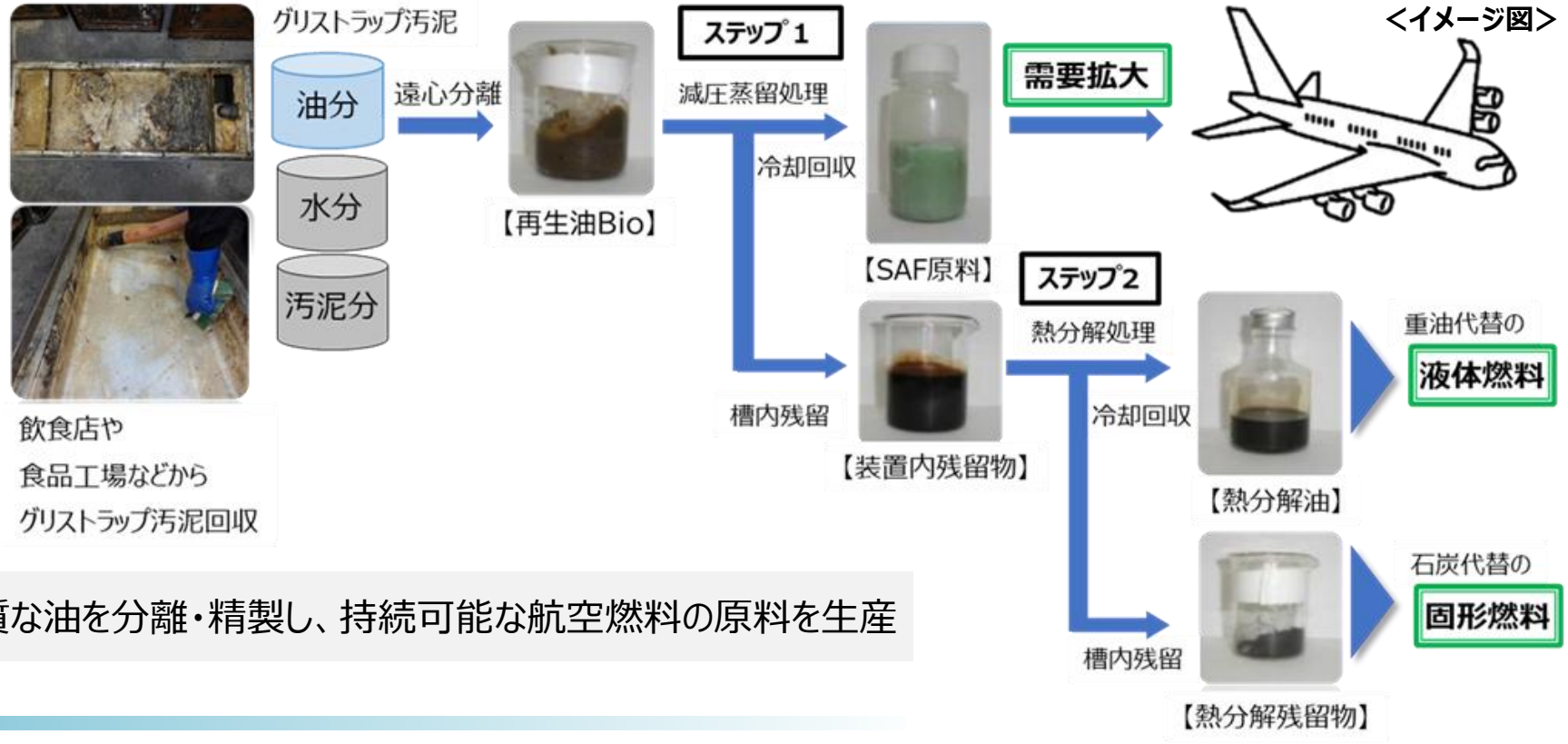


Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域 | ジェット燃料(SAF)の原料製造の実証をスタート

サニックスグループが進める「グリストラップ汚泥からジェット燃料の原料製造事業」が、環境省の「令和7年度脱炭素型循環経済システム構築促進事業のうち、プラスチック等資源循環システム構築実証事業（うち、廃棄物等バイオマスを用いた省CO_2型ジェット燃料等原料製造・社会実装化実証事業）に採択されました。現在、廃液処理工場にて実証を進め事業化を目指しております。

2025年11月７日
▼ リリース ▼



「再生油Bio」から良質な油を分離・精製し、持続可能な航空燃料の原料を生産

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域 | 汚泥燃料化設備の導入

廃液処理事業では、汚泥燃料化およびSAFの原料製造に取り組んでおります。
廃液処理から「再エネルギー化」を加速させ、さらなる事業拡大を目指します。

有機性汚泥を固形燃料化する製造ライン（第１期）を新設

飲食店の廃食油などからバイオマス燃料を抽出した後に残る有機性汚泥を固形燃料化する製造ラインを新設しました。なお、現在、許認可取得待ちです。（2026年度 稼働開始予定）
許認可取得後、新製品「固形燃料REBON（リボン）」として販売予定です。
さらに、2029年３月期までに最大４ラインを導入する予定です。

固形燃料REBON(リボン)開発のリリース

2026年５月13日 リリース▶



固形燃料REBON(リボン)

汚泥・廃液を処理する施設
国内最大規模

ひびき工場（廃液処理工場）



固形燃料製造ライン（第１期）



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

資源循環領域 | 廃棄物管理システムの販売強化

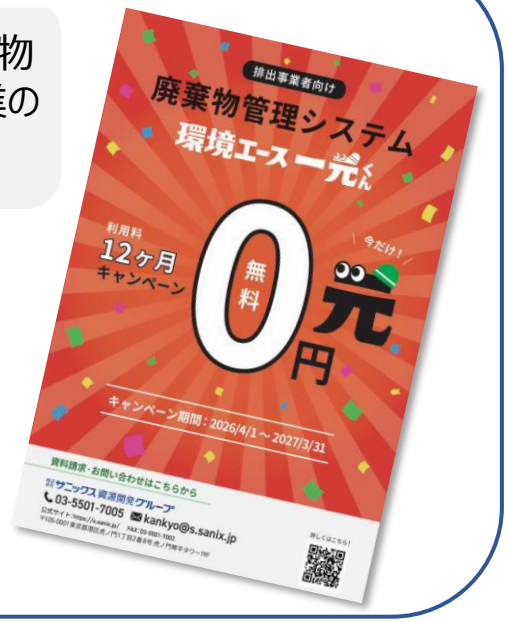
プラスチック事業では、「環境エース一元くん」を軸とした廃棄物管理コンサル企業を目指します。

「環境エース一元くん」利用料 12ヵ月 無料キャンペーン開催中

環境エース一元くん（排出事業者向け廃棄物管理システム）

廃棄物の回収・処理の流れ、量やリサイクル率など、廃棄物のすべてを「見える化」し、適正で効率的な廃棄物管理業のあらゆるシーンをサポートするシステムです。

▼ 詳しくはこちら ▼



キャンペーン期間
2026年4月1日～2027年3月31日

「環境エース一元くん」の広告動画が
福岡広告協会賞において「銅賞」を受賞！



▼ 動画はこちら ▼

受賞名　：第65回 福岡広告協会賞
　　フィルム広告15秒以内部門　銅賞
受賞対象：環境エース一元くん：無限ファイル編

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED　ALL Rights Reserved.

資源循環領域 | 廃プラスチックのマテリアルリサイクル事業に参入

プラスチック事業では、マテリアルリサイクル事業への参入に向け、2026年12月に富士工場（静岡県富士市）へ年間処理能力800トンの樹脂用押出ペレタイザーを導入します。サーマルリサイクル事業を基盤に、今後はマテリアルリサイクル事業を通じて、再生原料を必要とする新たな顧客を獲得し、リサイクル事業全体の成長を目指します。2026年11月5日 リリース

導入前（既存のリサイクル状況）

富士工場既存中間処理工程で有価物化できていたのは
既存マテリアル相当原料 約210t/年のみ。

既存実績

既存マテリアル相当原料
約210t/年

破砕 → 外部リペレット事業者 → 再生樹脂ペレット化

従来はマテリアルリサイクル困難

埋立・焼却から転換する硬質プラスチック



リサイクル困難の理由
- 異物混入や材質ばらつきがあり、品質確保が難しい
- 形状・性状が不均一
- 従来は埋立・焼却へ回ることが多かった

燃料系から転換する軟質プラスチック



リサイクル困難の理由
- 汚れ・水分・紙片等が混入しやすい
- 紙・ラベル・粘着物等が混在しやすい
- 品質が不安定になりやすく、従来は燃料系処理が中心

導入後（ペレタイザー導入後のリサイクルフロー）

富士工場内の既存中間処理工程で選別・抜取後、有価物化した原料をペレタイザー工程へ投入し、工場内で再生樹脂ペレット化を実現。

既存マテリアル相当原料
硬質プラスチック（埋立・焼却から転換）
軟質プラスチック（燃料系から転換）
→ ペレタイザー投入原料 約800t/年

ペレタイザー工程（富士工場内）

破砕 → 押出 → ろ過 → 冷却 → カット

富士工場内で再生樹脂ペレット化



導入予定ペレット成型機
（出典：福順裕實業有限公司カタログより）



再生樹脂ペレット

国内の製品製造へ
（例：レジャー用品・建築土木資質・パレット、自動範部品等）

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

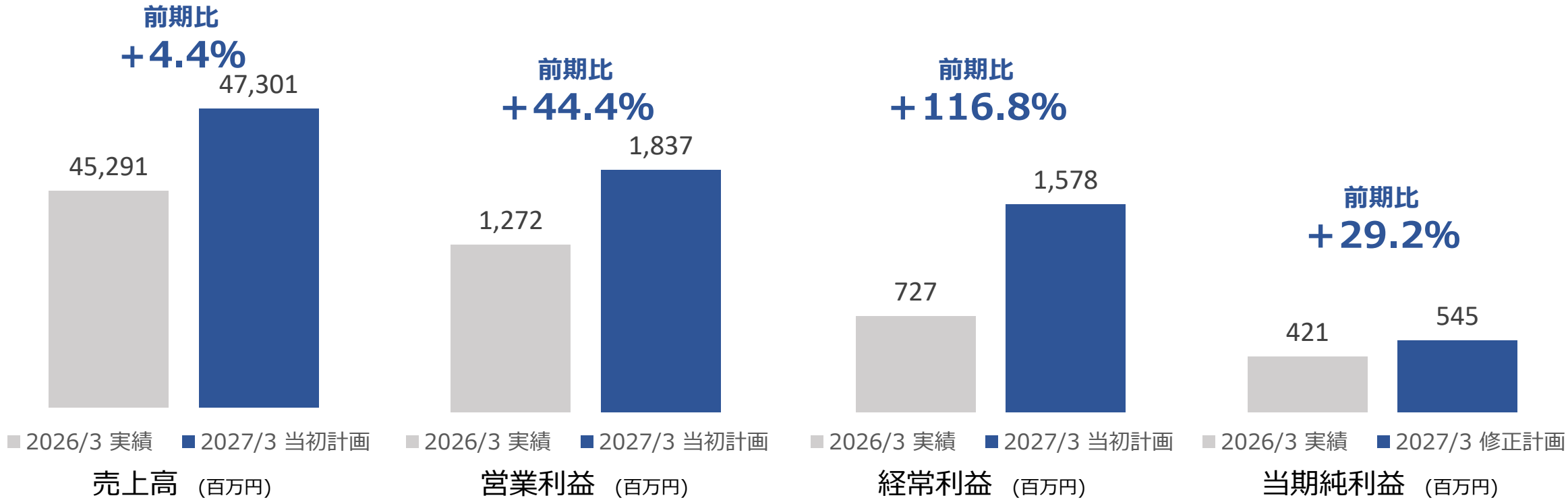
1. 2027年３月期２Q 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Q セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期 通期連結業績見通し

業績見通しについては、2026/5/15発表より、売上高、営業利益、経常利益の変更はありません。
当期純利益については、２Qに特別損失を計上したことなどを踏まえ修正をしております。

対前期比　増収・増益　見通し



Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期 通期連結業績見通し

上期計画に対して増益となりましたが、中東情勢等の影響により廃プラスチック排出事業者からの排出量が減少傾向にあること、および資材や燃料コストの上昇など足元の不確実な事業環境が下期においても継続することを鑑みて、売上高、営業利益、経常利益の変更はありません。
当期純利益については、２Qにシステム開発中止にともなう特別損失を計上したことに加え、設備更新にともなう既存資産の除却損を計上したこと、また、下期に、遊休資産（固定資産）の売却などを計上する見込みであることを踏まえ修正をしております。

(百万円)	2026/3期 通期 実績	2027/3期 通期 当初計画	**2027/3期 通期 修正計画**	前期差異	前期比	当初計画差異	当初計画比
売上高	45,291	47,301	**47,301**	+ 2,009	104.4%	+ 0	–
売上総利益	15,440	16,807	**16,807**	+ 1,367	108.9%	+ 0	–
営業利益	1,272	1,837	**1,837**	+ 564	144.4%	+ 0	–
経常利益	727	1,578	**1,578**	+ 850	216.8%	+ 0	–
当期純利益	421	1,002	**545**	+ 123	129.2%	△ 457	54.4%

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期 通期連結業績見通し

2026/5/15発表より、売上高、営業利益の変更はありません。

			対前期比	
住環境領域	売上高	15,688 百万円	(+3.9 %)	住環境領域では、営業力および顧客基盤を活かし、既存エリアを強固な収益基盤としつつ、ハウスビルダー等の業務提携先拡大および関東・東北の新規エリアへの進出を目指します。また、人材強化やDX化、サービス拡充を図り、多様な住宅環境ニーズへの対応を図り、事業拡大を目指します。
	営業利益	1,956 百万円	(+7.1 %)	
エネルギー領域	売上高	9,697 百万円	(+10.8 %)	エネルギー領域では、引き続き、採算性を重視した収益管理を徹底し、既存領域での収益性の向上を目指します。 また、太陽光発電事業だけでなく、太陽光周辺の電気工事業や低圧系統用蓄電池の事業化に取り組み、事業拡大を目指します。
	営業利益	467 百万円	(+427 百万円)	
資源循環領域	売上高	21,455 百万円	(+2.0 %)	資源循環領域では、プラスチック事業の処理単価の改定を実施するとともに、前期にプラ燃料が一時的に在庫増となった状況を鑑みて、在庫の適正化を図り収益性の改善を目指します。また、発電事業では、2026年4月から安定稼働に向けた対策を実施し、安定稼働の実現を目指します。廃液事業では、汚泥燃料化や再生油BioからSAF原料化の実証を進め、さらなる事業拡大を目指します。
	営業利益	2,146 百万円	(+24.4 %)	
その他/本社費用	売上高	459 百万円	(+12.1 %)	中東情勢の影響により、一部資材や燃料費の増加等によるコスト増加を見込む。 各事業会社の成長と利益の最大化を図るとともに、次なる成長の柱となる新規事業の創出を積極的に推進
	営業利益	△2,733 百万円	(△413 百万円)	

※中東情勢による影響は、状況が極めて流動的かつ複数の要因が絡むため、
各セグメントへの精緻な影響額の試算が困難であり、その他/本社費用に織り込んでおります。

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

1. 2027年３月期２Q 決算概況 P. 2
2. 2027年３月期２Q セグメント別概況
①住環境領域 P. 11
②エネルギー領域 P. 16
③資源循環領域 P. 20
3. トピックス P. 26
4. 2027年３月期 通期連結業績見通し P. 32
5. 参考資料 P. 36

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

2027年３月期２Ｑ 決算概況

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績	前年同期差異	前年同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比	2027/3期 通期 計画	進捗率
売上高	21,502	**22,090**	+ 587	102.7%	22,178	△ 88	99.6%	47,301	46.7%
売上総利益	7,148	**7,754**	+ 606	108.5%	7,911	△ 156	98.0%	16,807	46.1%
（売上高売上総利益率）	33.2%	**35.1%**			35.7%			35.5%	
営業利益	△ 19	**737**	+ 757	–	461	+ 275	159.7%	1,837	40.1%
（売上高営業利益率）	–	**3.3%**			2.1%			3.9%	
経常利益	△ 407	**570**	+ 978	–	335	+ 235	170.2%	1,578	36.2%
（売上高経常利益率）	–	**2.6%**			1.5%			3.3%	
親会社株主に帰属する中間純利益	△ 613	**115**	+ 729	–	217	△ 101	53.3%	1,002	11.6%
（中間純利益率）	–	**0.5%**			1.0%			2.1%	

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

セグメント別概況 | 住環境領域

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績	前年同期差異	前年同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比	2027/3期 通期 計画	進捗率
売上高	7,742	**7,854**	+ 112	101.5%	7,943	△ 88	98.9%	15,688	50.1%
売上原価	3,336	**3,313**	△ 23	99.3%	3,347	△ 34	99.0%	6,757	49.0%
うち、材料費	965	**937**	△ 28	97.1%	988	△ 51	94.8%	2,004	46.8%
うち、労務費	1,171	**1,143**	△ 28	97.6%	1,210	△ 66	94.5%	2,435	47.0%
売上総利益	4,405	**4,541**	+ 135	103.1%	4,596	△ 54	98.8%	8,930	50.9%
販売費・一般管理費	3,394	**3,395**	+ 1	100.0%	3,503	△ 108	96.9%	6,974	48.7%
うち、人件費	2,233	**2,184**	△ 48	97.8%	2,285	△ 100	95.6%	4,561	47.9%
営業利益	1,011	**1,145**	+ 134	113.3%	1,092	+ 53	104.9%	1,956	58.6%

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

セグメント別概況 | エネルギー領域

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績	前年同期差異	前年同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比	2027/3期 通期 計画	進捗率
売上高	3,590	**2,982**	△ 607	83.1%	3,531	△ 549	84.4%	9,697	30.8%
売上原価	2,626	**2,441**	△ 184	93.0%	2,606	△ 164	93.7%	6,925	35.3%
うち、材料費	1,438	**1,100**	△ 338	76.5%	1,311	△ 211	83.9%	3,739	29.4%
うち、労務費	314	**300**	△ 13	95.6%	327	△ 27	91.6%	689	43.6%
売上総利益	963	**540**	△ 423	56.1%	925	△ 384	58.4%	2,772	19.5%
販売費・一般管理費	1,067	**1,032**	△ 35	96.7%	1,103	△ 71	93.5%	2,304	44.8%
うち、人件費	635	**583**	△ 52	91.8%	661	△ 78	88.2%	1,401	41.6%
営業利益	△ 103	**△ 491**	△ 387	–	△ 178	△ 313	–	467	–

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

セグメント別概況 | 資源循環領域

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績	前年同期差異	前年同期比	2027/3期 上期 計画	計画差異	計画比	2027/3期 通期 計画	進捗率
売上高	9,975	**11,063**	+ 1,087	110.9%	10,492	+ 571	105.4%	21,455	51.6%
プラスチック事業	5,264	**5,204**	△ 59	98.9%	5,503	△ 299	94.6%	11,150	46.7%
発電事業	1,454	**2,511**	+ 1,056	172.6%	2,050	+ 461	122.5%	4,367	57.5%
廃液処理事業	1,213	**1,172**	△ 40	96.6%	1,174	△ 1	99.8%	2,352	49.9%
埋立処理事業	473	**493**	+ 19	104.1%	475	+ 18	103.8%	998	49.4%
新電力事業	1,569	**1,681**	+ 111	107.1%	1,288	+ 392	130.5%	2,587	65.0%
売上原価	8,275	**8,478**	+ 202	102.5%	8,171	+ 306	103.7%	16,527	51.3%
うち、労務費	1,040	**971**	△ 68	93.4%	1,091	△ 120	89.0%	2,193	44.3%
売上総利益	1,700	**2,585**	+ 884	152.0%	2,320	+ 265	111.4%	4,927	52.5%
販売費・一般管理費	1,406	**1,360**	△ 46	96.7%	1,382	△ 21	98.4%	2,780	48.9%
うち、人件費	772	**822**	+ 50	106.5%	857	△ 34	96.0%	1,718	47.9%
営業利益	293	**1,224**	+ 930	416.9%	937	+ 286	130.6%	2,146	57.0%

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

財務状況

単位:百万円	2026/3期 期末	2027/3期 2Q	前期末 差異	前期末 前期比
流動資産	15,102	**14,257**	△ 845	94.4%
固定資産	24,921	**24,782**	△ 139	99.4%
資産合計	40,024	**39,039**	△ 984	97.5%
流動負債	18,380	**18,276**	△ 104	99.4%
固定負債	10,637	**9,916**	△ 720	93.2%
負債合計	29,018	**28,193**	△ 824	97.2%
純資産合計	11,006	**10,846**	△ 159	98.5%
負債純資産合計	40,024	**39,039**	△ 984	97.5%
自己資本比率	27.5%	**27.8%**		

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

設備投資・減価償却費　実績

(百万円)	2026/3期 2Q 実績	2027/3期 2Q 実績
住環境領域	26	95
エネルギー領域	227	83
資源循環領域	2,362	846
その他	77	82
設備投資合計	2,694	1,107
減価償却費	896	926

【主な設備投資】

【資源循環領域】

- 廃プラスチック処理設備にかかる投資　：646百万円
- 苫小牧発電所にかかる投資　：　93百万円
- 廃液処理設備にかかる投資　：　88百万円

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED　ALL Rights Reserved.

セグメント別 人員・拠点数

	2026/3期 期末		2027/3期 2Q		
	拠点数	人員数	拠点数	人員数	人員増減
住環境領域	71	1,041	**72**	**1,037**	△4
エネルギー領域	27	284	**27**	**285**	+1
資源循環領域	19	528	**19**	**538**	+10
その他/ホールディングス	—	180	**—**	**169**	△11
合　計	**—**	**2,033**	**—**	**2,029**	**△4**

※上記拠点数には、同一拠点を含む
※資源循環領域は、発電所１拠点、最終処分場１拠点含む

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

重要経営指標

		2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 実績	2027/3期 計画
自己資本当期純利益率	ROE	—	24.8%	36.1%	15.6%	4.0%	8.7%
総資産経常利益率	ROA	—	4.5%	9.8%	5.3%	1.9%	3.9%
自己資本比率		13.5%	18.0%	24.1%	27.7%	27.5%	29.0%
投下資本利益率	ROIC	—	8.4%	14.4%	8.0%	2.9%	5.0%
設備投資（百万円）		2,776	1,566	2,743	4,053	3,922	3,148
減価償却費（百万円）		1,509	1,889	1,654	1,701	1,877	2,362

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

【免責事項】

- 本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。
- 新型コロナウイルス感染状況及び政府・自治体の対応、日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の動向、廃棄物（特に廃プラスチック類）の取扱いに関わる動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。
- 本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

＜注意事項＞

・数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
・営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
・比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「ー」で表示しております。
・セグメント間の内部売上高調整額を相殺した金額にて記載しております。

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.

次世代へ快適な環境を

SANIX

Copyright© SANIX HOLDINGS INCORPORATED ALL Rights Reserved.